

せせらぎ



令和元年 7月 5日発行 No.3

今回は、5年生音楽科の授業の様子をお伝えします。前の時間までに3人組や4人組を作りそれぞれの楽器を受け持つか決め、楽器にあったリズムを選びました。本時は、各グループがテーマを決め、教科書の例を参考にしながら組み合わせ方を話し合い演奏の方法を考えることができました。どのグループもテーマに合った様子を表現しようと意欲的に取り組むことができました。

校内研究授業 7/3 (水)

5年音楽「いろいろな音のひびきを味わおう」

指導者

ねらい「様々な音の重ね方や工夫を聴き取り、それによってもたらされる音の響きの変化やおもしろさに気付くことができる。」

つかむ

1. 「めあて」をもと
2. 「見通し」をもと

授業が始まるまでの時間、前の時間に練習したリズムを練習しています。



めあて
どんな工夫をすれば、よりおもしろいアンサンブルになるか？



追究する・深める

3. 自分で解いてみよう
4. ともだちと相談しよう
5. みんなで話し合おう

考えたリズムで演奏しています。



リズムの重ね方を復習し、グループごとにテーマを決め、重ね方を話し合いました。

まとめる

6. 「まとめ」をしよう
7. 問題を解いてみよう
8. 「ふりかえり」をしよう



最後に、発表しました。テーマは「にぎやかで楽しい」です。1人だけで演奏したいみんなで重ねたい工夫しました。

発表を聞いていた子は、「音の重なりがあってきれい」「だんだんと音が重なってにぎやかな感じだった」という感想を発表してくれました。

子供たちは、1つのリズムを繰り返したり、2つのリズムを重ねたりしながら、リズムの重ね方を工夫することができました。

授業研究会では、「グループごとにテーマや意図に合ったリズムの組み合わせ方を協力して考えていた。」という意見が出されました。

